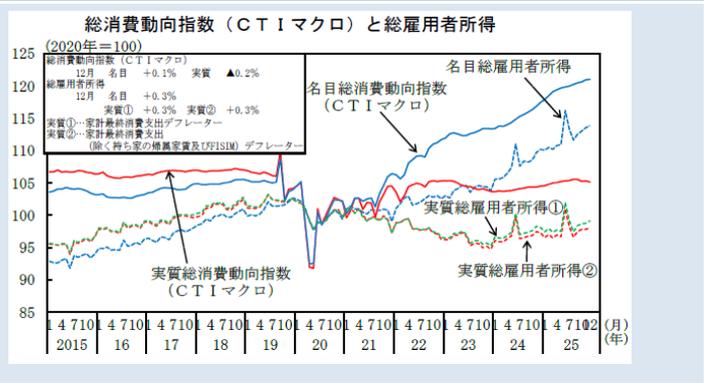


| 月例経済報告（2025年2月）

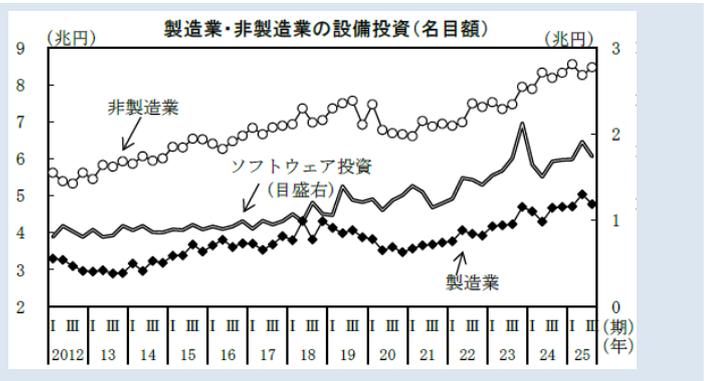
● 月例経済報告（2/25）

基調判断	(2月) 景気は、米国の通商政策の影響が残るものの、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待される。ただし、今後の物価動向や米国の通商政策をめぐる動向などの景気を下押しするリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。
	(1月) 景気は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待される。ただし、今後の物価動向や米国の通商政策をめぐる動向などの景気を下押しするリスクに留意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意する必要がある。

個人消費	(2月) 持ち直しの動きがみられる。
	(1月) 持ち直しの動きがみられる。



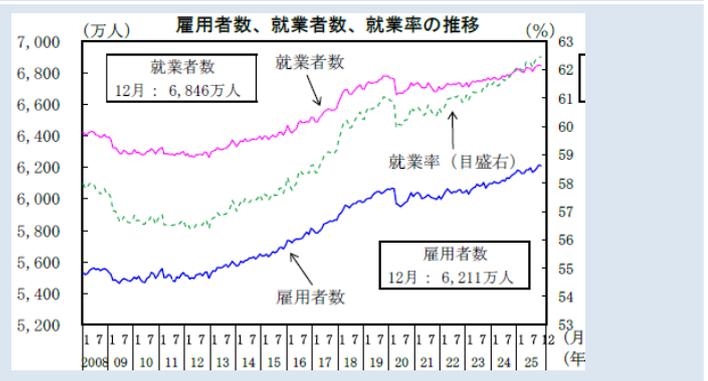
設備投資	(2月) 緩やかに持ち直している。
	(1月) 緩やかに持ち直している。



住宅建設	(2月) 弱含んでいる。
	(1月) 弱含んでいる。



雇用情勢	(2月) 改善の動きがみられる。
	(1月) 改善の動きがみられる。



生産	(2月) 横ばいとなっている。																									
	(1月) 横ばいとなっている。																									
輸出	(2月) おおむね横ばいとなっている。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">全体</th> <th colspan="2">アジア</th> <th colspan="2">米国</th> <th colspan="2">EU</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月</td> <td>+3.1%</td> <td>1月</td> <td>+7.6%</td> <td>1月</td> <td>+1.3%</td> <td>1月</td> <td>+0.2%</td> </tr> <tr> <td>3MA</td> <td>+2.0%</td> <td>3MA</td> <td>+3.7%</td> <td>3MA</td> <td>+0.2%</td> <td>3MA</td> <td>+1.0%</td> </tr> </tbody> </table>	全体		アジア		米国		EU		1月	+3.1%	1月	+7.6%	1月	+1.3%	1月	+0.2%	3MA	+2.0%	3MA	+3.7%	3MA	+0.2%	3MA	+1.0%
	全体		アジア		米国		EU																			
1月	+3.1%	1月	+7.6%	1月	+1.3%	1月	+0.2%																			
3MA	+2.0%	3MA	+3.7%	3MA	+0.2%	3MA	+1.0%																			
(1月) おおむね横ばいとなっている。																										
国内企業物価	(2月) 緩やかに上昇している																									
	(1月) 緩やかに上昇している																									
消費者物価	(2月) <u>このところ上昇テンポが緩やかになっている。</u>																									
	(1月) 上昇している。																									
海外経済	<p>(2月) 世界の景気は、一部の地域において弱さがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている。ただし、米国の関税率引上げに伴う不透明感が続いている。先行きについては、地域によってばらつきはあるものの、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、米国の政策動向による影響や金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。</p> <p>(1月) 世界の景気は、一部の地域において足踏みがみられるものの、緩やかな持ち直しが続いている。ただし、米国の関税率引上げに伴う不透明感が続いている。先行きについては、地域によってばらつきはあるものの、緩やかな持ち直しが続くことが期待される。ただし、米国の政策動向による影響や金融資本市場の変動の影響等に留意する必要がある。</p>																									

[月例経済報告：内閣府](#)